

ハスモンヨトウなどチョウ目害虫に引き続き注意を！！

(対象作物：露地・施設野菜、花き類)

美濃地域に設置したハスモンヨトウフェロモントラップにおける誘殺数は、10 月第 II 半旬～11 月第 I 半旬の累計誘殺数で、岐阜市 5,466 頭(平成 2025.8 頭)、海津市 10,483 頭(平成 819.8 頭)と非常に多く推移しています(図)。

11 月以降も露地栽培するキャベツやホウレンソウなど秋冬野菜では、ハスモンヨトウ幼虫による食害が認められています。また、アブラナ科野菜ではタバコガ類やウワバ類、ホウレンソウではシロオビノメイガなど、ハスモンヨトウ以外のチョウ目害虫による食害も継続して確認されています。

向こう 1 カ月の気象予報(名古屋地方気象台 11 月 7 日発表)では、気温は高く、今後しばらくはこれらチョウ目害虫の活動が続くと見込まれます。ほ場内をよく確認し、発生が多い場合は若齢幼虫のうちに薬剤防除を実施するとともに、収穫の際には、幼虫の付着がないか十分に確認を行ってください(写真 1、2)。

なお、イチゴなど施設栽培では、野外の気温が低下しても発生が継続します。ハウスサイドや天窓など開口部は防虫ネットで被覆し成虫の飛び込み防止に努めてください。また、卵塊は植物体だけでなく防虫ネット等にも産み付けられます。見つけた卵塊は除去し、幼虫は見つけ次第捕殺してください。

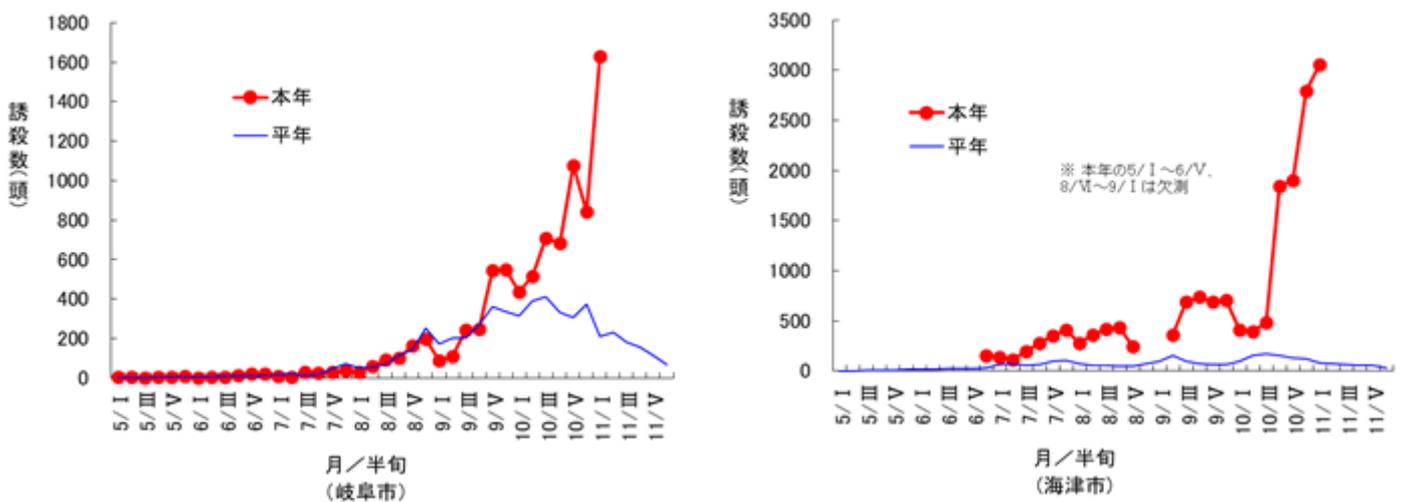




写真1 ハスモンヨトウ幼虫による食害（左：キャベツ。右：ホウレンソウ）
撮影日：11月11日



写真2 チョウ目害虫による食害等
（左上：タマナギンウワバ、右上：タバコガ類 品目：キャベツ）
（左下：シロオビノメイガ成虫、右下：シロオビノメイガ幼虫 品目：ホウレンソウ）
撮影日：11月11日

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますので
ご活用ください。
岐阜県病害虫防除所 <https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>